

令和2年度 修文女子高等学校 学校評価（計画）

【教育目標】

知的で、明るく、たくましく、共感力をそなえ、国家、社会に貢献できる人間力を養う。

【ランドデザイン】～ 特色と魅力に富んだ、入学したくなる学校を目指して～ 「Speed! Challenge! Innovation!」

【目標領域1】文武両道・全人教育（人間力の育成）

- 1 人間力育成のために学院訓「推譲・明朗・強健」の具現化を図る
- 2 男女共学化・新学習指導要領実施に伴い、多様な生徒に対応できる指導体制を構築する
- 3 多様な進路実現を達成するための学力の保証と進路指導を充実する
- 4 心の教育を推進し、共感力・自立心やたくましい精神力を養う
- 5 学校を取り巻く社会の変化に対応できる資質・能力を育てる

【目標領域2】教育は人なり（教師力の向上）

- 1 予習・授業・復習のサイクルを明確にした「修文メソッド（カリキュラムポリシー）」を各教科で確立し、徹底させる
- 2 教員の授業力向上

【目標領域3】

- 1 地域社会に貢献し、地域の教育力を活用する
- 2 高大連携の充実

【目指す学校像】

地域に信頼される学校（地域連携・高大連携の充実）

【今年度の重点目標】

- 1 社会人となるための基本を身につけさせる
- 2 学習に対する意欲を喚起し、学力を向上させる —学力の保証—
- 3 心の教育の充実・自立心を育てる —心の学校—
- 4 防災教育を推進する ～安心・安全な学校～
- 5 地域の期待にこたえ、信頼される学校をつくる —開かれた学校—

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
普通科	基礎学力の定着	・朝の反復学習における国英数、時事に関する学び ・家庭学習の充実に向けた継続的な仕掛け	・朝の反復学習では、国語や英語の簡単なワークや計算問題への取組み、新聞のコラムについての学習などを実施し、基礎学力の養成を図るとともに、基本的な学習習慣の形成へもつなげていく。
	応用力の養成	・習熟度別クラス編成による授業の実施（国数英） ・学力や進路希望に応じた補習の実施	・それぞれの学力に応じた適切な指導を行うとともに、よりレベルの高い授業、補習を実施することで、生徒の（客観的に計測できる）学力を引き上げる。
	視野の拡大	・進路行事の実施時における振り返りの徹底 ・CPタイムの積極的な活用	・自身の適性や進路希望について、年間を通じて絶えず思考を深めさせる。 ・自分の生活を自律的に振り返ることで、自分にできることを増やしていく。
	可能性の追求	・模試の積極的受験の奨励と対策の実施	・自らの能力を過大評価、過小評価することなく、目的に向かって一心に学習に取組む姿勢を育む。
情報会計科	積極的な資格取得と納得のいく進路実現	・夏季補習、検定直前補習、朝補習、緻密な進路指導	・3年間の検定取得へ組織的に取組み、日本商工会議所主催の検定合格を目指す。 ・進学希望者には、資格を活用した入試方式の紹介、および指導を充実する。 ・就職希望者には、面接や筆記対策において細やかに指導を行ない、厳しい状況を乗り切る。
	ビジネスの諸活動で即戦力となる人材の育成	・始業前着席、授業準備の徹底 ・報連相の徹底	・挨拶や始業前着席、授業準備の徹底を通して、計画的に物事を進める能力を身につけさせる。 ・進学希望者には、資格を活用した入試方式の紹介、および指導を充実する。 ・就職希望者には、面接や筆記対策において細やかに指導を行ない、厳しい状況を乗り切る。
家政科	専門教科の技術を身につけ資格取得をめざす	・検定補習の実施 ・徹底反復学習に検定問題を実施	・家政科生徒としての自覚を持たせ、被服、食物、保育の技術と知識を身につけさせる。
	自ら考え行動する力を身につける	・何事にも目標を立てさせる ・外部のイベントへ積極的に参加	・基礎学力を身につけさせ、計画的に物事を進められるようにする。 ・個人面談を定期的実施し、生徒の実態を把握する。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・調理師としての自覚の涵養	・個人面談を定期的実施し、一人ひとりの特性の把握に努め、調理師としての自覚を育てる。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・一宮市にちなみメニューを考案する。継続的に商品化できるように地元企業に働きかける。 ・地域の方々と接することで、コミュニケーション能力を育てる。
総務課	防災に対する取組みの推進	・防災教育の推進	・危機を予防するために、安全点検、防災訓練、教員研修を実施し、安全に行動できる知識や能力を育成する。
	PTAや同窓会との連携の推進	・PTA活動の主体的な取組みへの支援 ・同窓会などの情報発信	・メール配信システムやホームページを通して取組みを紹介し、協力連携を図る。
教務課	生徒の学力向上	・基礎学力の定着と応用力の養成	・学習コンクールで60点以上、基礎力診断テストでD2以上を目指し、入試に対応できる運用能力を身につけさせる。
		・英語教育の充実	・本校での英語活動を通して興味関心を抱かせ、英語力向上だけでなく、積極的に活用できるようにする。
	教員の授業力向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・始業や終業のけじめと挨拶を徹底する。 ・ICTの授業を取入れ、アダプティブな対応で生徒の学習効果の向上に努める。
	図書館の利用促進	・読書環境の整備	・良質な読書環境を整備する。 ・図書館を授業、特別活動等で計画的に利用し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
生徒課	品位ある生徒の育成	・挨拶	・笑顔で挨拶の飛び交う雰囲気づくりを教員から行なう。
		・交通マナー、登下校マナーの確立	・交通事故「0」を目指し、正しい登下校マナーを身につけさせる。
	生徒会活動の活性化	・生徒主体の活動 ・部活動の見直し	・生徒会活動や学校行事などが、生徒主体で企画、立案、実行できる手助けをする。 ・既存の部活動を抜本的に見直す。 ・3年間精励した生徒、貢献した生徒に対して卒業時に顕彰する。 ・ボランティア、演奏会など、地域への活動範囲を広げる。
健康管理の徹底	・心身の健康意識の向上	・定期的に保健だよりを配付し、生徒や保護者に情報提供と協力を得る。 ・相談室開室日を定期的に知らせ、相談による心の安定した日常につなげる。	
進路課	妥協のない進路選択	・進路行事の連携と意識づけ	・継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。
		・入試制度改革への対応と多様な入試の活用	・進路検討委員会を定期的に行い、入試制度改革への対応策を研究する。また、難関大学合格へ向けた糸口を探したり、取得した資格を活かした入試方法を提案したりする。
		・就職試験対策の強化	・就職試験対策の補習により基礎学力の定着を図る。また、面接試験において加点となるような面接指導を実施し、全員が第一志望の企業に合格できるようにする。
広報課	情報発信と広報行事の充実	・ホームページや学校案内、広報行事を通して本校の魅力を発信	・ホームページや学校案内等、さらに見やすく魅力的なものにしていく。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRを強化し、参加者増をめざす。